

第2回志免町都市計画マスタープラン策定委員会指摘事項と対応

番号	指摘者	指摘箇所	指摘事項	回答及び対応
1	笠松委員	現行計画 将来都市構造	現行計画の将来都市構造において、鉄道公園以南の緑道の表記が消えてしまっている。これは、町として、この緑道は、廃止するという理解でよいのか。	(回答) 町として、廃止することを想定しておらず、また、舗装等の再整備等も実施している場所になるため、次回委員会で、適切な表記をした将来都市構造をお示しする。
2	長会長	1.志免町の現状と課題 1-6志免町の特性と課題	公共交通がバスしかないということもあり、自転車利用も多いと考えられるため、歩行者空間の確保に合わせて、自転車の通行環境の確保を課題に追加してはどうか。	(対応) 全体構想の「交通体系」に自転車通行環境の確保の文言を追加
3	池田委員	2.都市づくりの目標 2-1 都市づくりの理念	町民の生活圏が町内に閉じていないため、志免町のコンパクトを考える上では、周辺との関係性が方針に示されるとよいと思う。	(対応) 新たな将来都市像を設定しているものの、検討を続けさせていただく。
4	長会長	2.都市づくりの目標 2-1 都市づくりの理念	将来都市像のキーワードの中には、「バランスよく」や「徒歩圏で暮らせる安心感」といった拠点が複数あるということが表現されるような言葉にしてもらえると、「コンパクトタウン」というよりは、実際に生活に密着し、目指す方向性がよりはっきりしてくると思う。	
5	高木委員	2.都市づくりの目標 2-1 都市づくりの理念	「ちょうどよい」というようなあやふやな言葉が標語としてよいのか疑問を感じる。ちょうどよいという言葉自体が比較できないということもある。	
6	原委員 長会長	2.都市づくりの目標 2-2まちづくりの基本方針	まちづくりの基本方針①において、バランスよく機能を配置することに加えて、歩いて移動できるという観点を盛り込めるとよいのではないか。	
7	重水委員	2.都市づくりの目標 2-2まちづくりの基本方針	桜丘から町中心部にアクセスする公共交通が不便である。町中心部や役場等にアクセスしやすい公共交通網が形成されれば、町全体で活気づくのではないか。	